

お西さん

2002

3-4



住吉漁港にて

最近「学級崩壊」という言葉をよく聞きます。

授業中に立ち歩いたり、先生に反抗して授業の出来ない状態が広がりを見せているとことです。そこには様々な問題があると思われますが、一つには従来の伝統的な家庭の姿が失われたことも要因ではないでしょうか。もっとも過去の家庭の在り方を全て肯定するものではありませんが。

核家族化と言われているように祖父母、両親との別居、夫婦の共働きが状態化、さらに夫婦別姓、別居夫婦などの多様化する社会。それぞれが自分のことしか考えることが出来なくて、

極端な例とは思われますが親の忿懣が罪の無い幼児への虐待、生命をも、奪っています。大人社会の歪のなかで純真な心が汚され蝕まれているように思えてなりません。子供の心の叫びを受けとめ、受け入れる家庭、社会が求められているのではないでしょうか。

観無量寿経には「一一の光明、あまねく十方世界を照らし、念仏の衆生、撰取して捨てたまわず」と、一切の条件を付けず、あるがままの姿でおさめとって捨てないという限り無いみほとけの慈悲が説かれます。

輪番 吉川孝臣

「なごみ」の寺 本願寺函館別院

函館市東川町12-12 ☎(0138)23-0647

よろこびそ函館へ 御講師さん紹介

“われをたよりにせよ”——彼岸に思う



東北教区 福島南組 圓寿寺 衆徒
木村 正明氏

「暑さ寒さも彼岸まで」という諺のように春彼岸の時季となりますと、「お彼岸ですなあ」と、何気なくかわす言葉のやり取りの中にも、厳しかった冬から暖かさがもどるこの時期を迎えて、なんとなく希望や期待を寄せるお互いの心持ちがほのかに伝わってくるような気が致します。

彼岸という語は、もともとインドのサン스크リット語で、パーラミター（波羅蜜多）がその語源です。「パーラ」とは「彼岸」、「ミ」とは「〜に行く」、「ター」とは「そこへ達した」という状態をあらわし、中国で「到彼岸」と訳されました。つまり迷いの世界（此岸）から、悟りの世界（彼岸）へ到達するという意味です。

と導きによって、私たちは「苦海」（生老病死四苦八苦の苦悩が充満している世界）のただ中において本当の出遇いがあることを教えられているのであります。

ですから、春秋の彼岸は、仏の世界に到るための歩みをいよいよ確かなものにしていくための大切な時期として、古来より考えられてきました。この時期にはふだんから仏教に縁深い人であつ

常例布教に寄せて

北海道教区 空知北組 竜泉寺

寺垣 信晃氏

昨年、作家の高史明さんがNHK教育テレビの人間講座という番組で「歎異抄」のお話をされていました。その中で「現代という時代は、自力が蔓延している時代である」とおっしゃった事が印象に残りました。私なりの解釈で

からないということが多く、心よりどこかにするのかわからないでしようか。高史明さんがおっしゃった「自力が蔓延している時代」とは、信が喪失（又は崩壊）しつつある時代であると言いかえることが出来るかもしれせん。そういう時代を生きざるを得ない私達は、一体何を

ご挨拶



兵庫教区 神明組 覚正寺

大原 光夫氏



今から十年ほど前に函館線の常例布教をつとめさせていたきました。その時、「寿都」という地名が読めなくて「ジユト?」「ウン?」「コトブキト……?」。尋ねる私は自信がなく、声も小さい。道行く人も怪訝な顔で首をかしげる。やがて気の利いた方に出会い「スツツと言うんですよ」と教えられた。それだけで妙に不安が吹き消えました。行き先すら口に出して尋ねられないなかで、「一言、スツツ」と言えるようになっただけで、こんなに安心できるものかと、い申し上げます。

●若いうちに●

桔梗町にお住まいの木下貴司さんのお宅にお伺いしたとき、普段ですと御夫婦そろって一緒にお勤めさせていただくのですが、この日は見慣れない子供さんの姿がありました。このお孫さんかな?と思っておりました。お勤め中も木下さんご夫妻と一緒に、手を合わせてお参りしている姿がとてかわいく、感心させられました。しかし、お勤め後お聞きしますと、近所のお宅のお子さんを預かっているとのことでした。

その子の名前はありさちゃんと言います。現在幼稚園に通っているそうです。ありさちゃんの家には、お仏壇がないのですが、木下さんのお宅に来ますとちやんと両手を合わせることが出来ます。こ

のようなご縁に遇うということは本当に、かけがえの無いことです。蓮如上人は「御一代聞書」において「仏法は若いうちにたしなめ」とお書きになられてます。

年をとってからではなくこの瞬間、瞬間が大切なのです。ご縁の中でありさちゃん共々に手を合せていきたいことです。

西村

ふれ愛声とぞ



不定期連載「一切衆生悉有仏性」第1回

この連載では、御門徒さんのお家で一緒に暮らしている動物を御紹介していきます。尚、いつ載るかは分かりませんのであしからず。今回は本通三丁目の笹木さん宅、犬の「大ちゃん」(オス、3才)です。



迎してくれます。

初めて私がお参りにお伺いした日のことです。帰ろうとしたところ、大ちゃんがサイドボードの引き出しをしきりに引っかきだしました。そこにはハーモニカが入っていて、ご主人が吹かれました。「音楽聴くのが好きなのかなあ」と思いきや、何と「ウォーン・オーン」と歌い始めたのです。伴奏にびったり合わせながら。たぶん私よりも上

平田

ご門徒さん紹介

先日、宝来町にお住まいの井上さんの自宅が函館周辺の歴史的な環境を守り、後世への遺産として保存運動に取り組み市民団体「函館歴史的風土を守る会」より今年度の歴風文化賞に選ばれました。

家は一九三五年(昭和十年)に建築されたそうです。その外観は、一階は和風、二階は洋風建築の要素を取りもっている全国でも珍しい造りとなっているところが受賞の理由だそうです。



後に聞きますと井上さんには「こやかに」「たいした事無いですよ」といわれ維持して行くにも大変な苦勞があると思いますが、これからもお内仏ともども大切によりしくお願いいたします。

乙女のおつぷやき

最近、水栽培を始めました。肥料等、手間もかからず簡単だろうと思いはじめたのですが、こまめに水を足さないといけなかったり、虫がついたり、想像していたよりずっと面倒なものでした。

しかし日々成長する葉を見るとうれしいです。もっと暖かくなったら違うものも育てようと思っています。

小池

おにしさん教化団体だより

●覚信尼会便り

覚信尼会、この会は若婦人会とも若妻会とも呼ばれ、非常に活動的な会です。名の由来は、親鸞さま晩年、身の回りのお世話をされた末娘、覚信尼様のお名前です。会員はただ今十五名ほどと、一時期に比べて少し減りましたが、主婦中心の会ですので毎月第二火曜日の夜七時から例会をしています。内容は、勉強会、お料理教室、お花教室等々。その他にも郊外研修旅行や市内散策、お寺の盆踊り等へのお手伝いと、色々な事をみんなで楽しく学ぶ会です。写真は先日一月二

十五日に行われた新年会の様子です。おいしいものを食べながら楽しく学べる覚信尼会に参加して見ませんか？

担当吉村



●ボーイスカウト便り

去る一月二十三日、大森町のサンリフレにおいて、「ボーイスカウト・ガールスカウト函館地区年頭交歓大会」が開催されました。

年に一度、函館地区のスカウト達が一堂に会し、さまざまなゲームや工作、ドッチボールなどを通して、親睦を深めたり、模擬ファイヤーではお互いに普段の活動の成果を発表するな

どしました。我が函館第二団からは十一名が参加しました。初めて参加するスカウトも多く、大会が始まるまでは緊張していましたが、開会式が終了し、ゲームの時間になると生き生きとした表情で各団ごとに用意した関所ゲームや工作などを巡っていきました。二団では、わりばし鉄砲とロープ相撲を用意しました。どちらともたくさんのスカウトがチャレンジし、それぞれに素晴らしい成績をおさめていました。ドッチボールでは同じグループになった他の団のスカウトと共に協力しながら、楽しい一時をおくったようです。模擬ファイヤーでは各団の出し物があり、それぞれに楽しい出し物や、素晴らしい歌などを披露してくれました。二団からはボーイ隊の三人が練習を重

ねてきた手品を発表しました。ちよっと元気がなかったのが惜しかったかな。でもなかなかの出来でした。今回参加したビーバー隊の佐藤ひろきくんは「とってもたのしかった、またらいねんもきたいな。」と話してくれました。

年に一度の大会ですが、スカウト達は十分に楽しんで、充実した1日を送ったようです。

担当八木



●壮年会便り

一月といえばどこでも新年会のシーズンです。

わが壮年会でも一月二十六日に湯川「啄木亭」において、多数の会員と、職員に参加により開かれました。

まずは開宴までのひととき温泉で体を温め、心身ともにリフレッシュ。そして料理を食べながらそれぞれに談笑。会員の方々はそれぞれいろいろな仕事や立場におられますので私たち職員の間には「なるほど」と思うような、専門的な話や経験談を、酒を飲みながら聴かせて下さいます。

一仏教徒として、集まり、親睦を深めながら仏教に触れることの出来る壮年会です。



毎月一度、十五日の例会では季刊「せいいてん」を教本とし仏教の勉強をしたり、ビデオを見て、家族を、社会を、意見を交換したり、別院行事への奉仕などさまざまな内容で活動しています。

仏教だから、お寺の壮年会だからと難しく考えることはありません。ぜひ一度見学に、又入会下さい。

担当脇坂

● 仏教に学ぶ会

仏教に学ぶ会は、会員十五名の小さな会ですが、毎月二十八日の六時半から別院にて勉強会をしています。

毎年二月には、通信教育受講の方々と同様に報恩講のお勤め、又京都の中央仏教学院より先生にお越しただいての勉強会等々を致しております。

今は、皆様もよくご承知の正信念仏偈の後にお称えする和讃、親鸞聖人が撰述された、三帖和讃(浄土和讃、高僧和讃、正像末和讃)三五〇首を順に拝読し、御文の説明や会員皆さんの思われたことなどを話し合い、聖人のお心を味わいながら会を進めています。

しかし会員の皆様との話し合いが盛り上がり、よく脱線してなかなか前に進まないときや、いろいろな人生経験のこと、仏教に対する素朴な疑問等々、あらゆるお話が出て笑いの中

で終わってしまうこともあります。

しかし、一人一人の考えや思いを話し合ったり、聞かせていただくと、こんな時どうすればいいのだろうか又、親鸞聖人ならなんとお答えになるだろうかなどと、話が進み改めて考えさせて頂くことがたくさんあります。

仏教に学ぶ会は、このように和やかな会ですので、一度気楽なお気持ちで御参加いただければと思います。

担当 神田



● 婦人会便り

さる一月二十三日に例年行われております仏教

婦人会の新年会が行われました。年が明け、始めての集会という事で多数の

会員の方々にお集まりいただき賑やかに行なわれました。

まず本堂に集まりいただきお勤めを上げさせていただきます。さすがにいつもお参りいただき婦人会の皆様です。声も大きく揃い、とてもありがたいお勤めでした。その後、文芸会館に席を移し、新年会のスタートです。

まずは御輪番のお話をいただき、次に先日釧路で開かれました仏教婦人会全道大会での仏教婦人会総連盟総裁大谷範子様のお言葉をビデオを見させていただきました。そして、会長の挨拶と乾杯の後、楽しい食事が始まりました。

おいしい食事を頂きながら、ご輪番が鹿兒島別院輪番時代に製作したテレビ放送のビデオを拝見し、とても勉強になりました。しばらくして自己紹介です新しい会員さんも加わりましたので一人一人立ち上がったの挨拶で顔も覚え、より一層の懇親が深まったことでしょう。

続いて会員さんにより踊りを披露していた

いただきました。水川きよしの歌にあわせての踊りに拍手喝采です。

最後はお待ちかね、豪華景品のあたるビンゴ大会です。今回の景品はすぐに役立つ便利な家庭用品が中心ですので、司会の読み上げる数字に一喜一憂しながらカードにしるしを付けていきました。皆様のおかげで、本当に楽しい新年会を過ごすことが出来たことと思います。

他にも別院行事への奉仕や研修会など楽しみながら仏法に触れさせていただいています。興味をもたれた方はぜひ婦人会に参加ください。



● 十八日会へようこそ

毎月十六日は、浄土真宗をお開きになられました親鸞聖人の御命日です。

両館別院では十三日、十五日まで常例布教、十六日は午後一時三十分より親鸞聖人御命日法要が本堂でお勤まりになります。

十六日会とは、御命日法要に先立ち、別院職員と十六日会会員の皆様と一緒に

お齋を頂き、親鸞聖人御命日に足を運ぶ一つの御縁日として。

頂く会です。御一緒に頂くお齋は、毎月会員の皆様と楽しく語りながら、お早朝より別院にお集まりくださり作られる心のもった手作りのお齋です。毎月十六日には、お寺へお作りくださる会員の皆様、参るのが楽しくなる会に、様のご苦勞を考えますと、今まで以上にしていこう感謝の念でいっぱいです。と思考しておりますので、本堂においしく、朝食を抜いてお齋を楽しみにして

いる独身職員もいる程です。ぜひ一度、親鸞聖人御命日法要にお参りください。近年、十六日会会員数は減少しております。ぜひお

担当 上野



春季彼岸会

※本院納骨堂及び台町墓地は、19日(火)より22日(金)までお勤め致します。

19日(火)

台町(常和台)彼岸会

◆昼1時30分より

◎法話 吉川孝臣 輪番

20日(水)・21日(木)・22日(金)

本院彼岸会

◆晨朝／朝7時より

◆逮夜／昼1時30分より

◎布教使

東北教区福島南組圓壽寺

木村正明氏

*21日(木)(御中日)は本院にてラムネと団子を

ご利用しています。どうぞ御利用下さい。

お供物に
ついての
お願い

墓所においては、カラス・キツネ等のイタズラが激しく、墓所の美観を損ね、納骨堂においても生菓子・供花が腐乱する可能性があるため、お供物は読経(お参り)を終えられましてから、仏様からのおさかりの品々ですので、必ずその場でお食べになるか、持ち帰られますようお願いいたします。

ののさま

はじめまして

—— 初参式 ——

新しい家族と一緒に初めての
お寺参りに来ませんか？

五月十九日(日)の降誕会(ごうたんえ)に皆
さんでお参りください。

夫婦の間に子供が授かると
いうことは実に尊くうれしい出
来事です。生まれてきた子供が
仏様の子供としてすくすく元
気に育つこ
とを願ってお
参りするこ
とを初参式
といいます。
申し込みは
事務所まで。



教えて！ お寺さん



Q 別院ではボーイスカウト活動をしているそうですが、女の子も入る事が出来ますか？

A はい、入れます。

ボーイスカウトと言いましても、最近はボーイスカウト日本連盟でも女性の入隊を受け入れています。特に別院の函館2団は、ボーイスカウトには3名、カブスカウトでは2名、ビーバースカウトには1名の女性隊員がいます。野外活動を中心に毎週楽しいプログラムを実施しています。興味を持たれた方はぜひ一度見学でもかまいませんので遊びにきてください。

お寺へ行くこう

ようこそ常例布教へ

●三月十三日(水)～十五日(金) 午後一時半より

北海道教区空知北組竜泉寺 寺垣 信晃氏

十六日(土) 親鸞大学 午後二時より

●四月十二日(金)～十五日(月) 午後一時半より

兵庫教区神明組覚正寺 大原 光夫氏

十六日(火) 親鸞大学 午後二時より

※四月の常例布教より、日程が十二日～十四日と二日増えました。少しでも多くのご縁にふれ、仏法にたしなんでいただきたいと思ひます。

お悔やみ申し上げます

永代経懇志
ありがとうございました

テレホン法話順番表

- 2月24日(日)～3月 2日(土)…神 田
- 3月 3日(日)～3月 9日(土)…脇 坂
- 3月10日(日)～3月16日(土)…吉 村
- 3月17日(日)～3月23日(土)…布教使
- 3月24日(日)～3月30日(土)…布教使
- 3月31日(日)～4月 6日(土)…高 倉
- 4月 7日(日)～4月13日(土)…石 黒
- 4月14日(日)～4月20日(土)…平 田
- 4月21日(日)～4月27日(土)…布教使
- 4月28日(日)～5月 4日(土)…上 野

24時間お好きなときにいつでもどうぞ

☎ 0138 27局 2424番

表紙の写真

フリーカメラマン 本堂 敬子さん

表紙の写真は中央のゴム手袋が水平線を指差している情景が面白く、漁師の生活観と同時にシニールで不思議な写真となっています。

写真は七年前からはじめる。主に人が気づかず通り過ぎてしまふようなものに目を向け、趣(おもむき)があり、ちよつと面白いものを撮りつづける。

個展は一九九七年に西武デパート、一九九九年末より世紀をまたぎ二〇〇〇年頭までギャラリー1807にて開催される。フリーのカメラマンである。

編集後記

▼今号より編集方法、内容が変わりました。みなさまのご意見、ご質問等も掲載したいと考えていますので、どんどんお寄せください。

また、家族の話し、旅行記、俳句等、記事のご依頼もさせて頂くこともあると思ひますので、そのときはよろしくお願ひいたします。

脇坂

▼お金持ちになりたいとか、いい家に住みたいとか、いい車がほしいとか、楽しいところに行きたいかと思うこともあるけれど、夕食の後、奥さんと二人、コタツに入ってお茶を飲みながらテレビを見る。喜びつて意外と近くにあるものですね。

高倉

学校法人 龍谷幼稚園だより

お弁当の時間...そのいち



先生 「Jちゃんほったツルツルだね!」
子ども「だってJ、お野菜食べてるもん!!」
先生 「どんな野菜なの?」
子ども「大根サラダ。」
先生 「笑・笑・笑(参りました)」



地震のあった翌日の事

先生 「きのう、地震あったの覚えてる?」
子ども「Rも地震みた事あるよ~」
先生 「みた事あるの?」
子ども「ガーガーって怖かったよ」
地震と何かを勘違いしたのかな?(笑)

こどもものがたり



大沼公園の雪まつりにて...

機関車トーマスの雪像の前で、記念写真を撮るときに...
子ども「あっ!!トーマスの口からよだれでてる~」
先生 「ホントに~!」
と、トーマスを見ると太陽の光で雪像が溶けてしまっていたみたいです。何とも可愛い発想です。

お弁当の時間...そのに



お弁当を食べ終えて、ミカンを口に入れた瞬間...
子ども「あ~、ミカンのほねだ。」
先生 「えっ?タネでしょう?タネ」
ウフフと目を細めて笑っていたMちゃんでした。

平成
14年度

園児募集

人の心のやさしさ(慈悲のこころ)を伝える宗教教育、それが **龍谷幼稚園** です。



お問い合わせは **龍谷幼稚園** ☎23-0274